

農業振興への取り組み

JAバンク三重は、JAグループの一員として、「農業生産の拡大」「農業者の所得増大」の実現に向けて、金融・非金融の両面から、地域農業の振興に資する取り組みを行っています。

▶ 地域農業の発展への取り組み

● 担い手のニーズに応えるための体制整備

JAバンク三重では、資材価格高騰等の影響を受ける担い手の皆さまが安心して事業を継続できるよう、“担い手金融リーダー”を中心に、農業資金の融通はもとより、公的支援制度や販路拡大先のご紹介、事業承継や法人化への相談対応などの担い手の経営ニーズにあわせた各種支援策に積極的に取り組んでいます。

また、農業者の課題解決に向けた相談対応力を強化するため、“JAバンク農業金融プランナー”や“農業経営アドバイザー”の資格取得を進めており、令和7年度末時点での有資格者数は168名となりました。



ベビーリーフ生産法人への訪問



茶生産法人への訪問



和牛生産法人への訪問

● 利子補給等による農業経営の支援

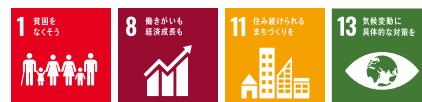
JAバンクでは、農業経営を資金面でサポートできるよう農業資金をご利用いただいているお客さまに対して「JAバンク利子補給事業」を実施しており、最長5年間、最大年1.0%の利子補給を行っています。本県では令和7年度において、1,283件、4,961万円の利子補給を行いました。

このほか、農業法人等の規模拡大や財務安定化をサポートするため、アグリビジネス投資育成株式会社と連携し、資本供与の枠組みとして設けた「アグリシードファンド」の利用提案を行いました。



● スマート農業技術の活用支援による取り組み

当会では、お取引先企業に対し、カルテック株式会社の光触媒技術を用いた殺菌・消臭に関する実証実験の支援や、株式会社farmoの水田管理システムなどスマート農業技術の活用促進を通じて、経営課題の解決および地域の発展・活性化への取り組みを行っています。



水田管理システム設置の様子

● ビジネスマッチングによる農畜産物等の販路開拓支援

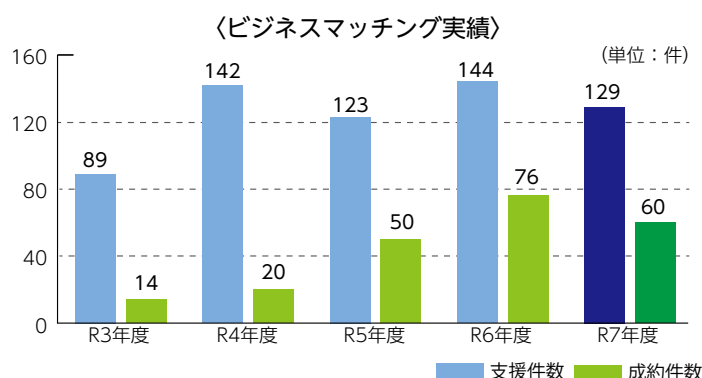


当会では、お取引先企業と系統団体、お取引先企業同士の仲介役となり、県産食材の販路拡大や同食材を活かした商品開発等にかかるマッチング支援を129件実施し、うち60件が成約となりました。

また、県内農畜産物やその加工品の消費拡大を目的に、「食の大商談会inみえ」（三重県等と共催）を、令和7年10月に開催しました。当商談会では、生産者や加工業者とバイヤーが一堂に会し、195件の個別商談が行われました。



「食の大商談会inみえ」の開催風景



＜令和7年度の主な成約内容＞

ニーズ先	ニーズ概要	マッチング先	内容
鉄道会社	車内販売向け商品の募集	地ビール製造者	高速鉄道での車内販売
農業生産法人	梅酒の新規製造に向けた製造過程・加工場の見学	酒造会社	製造過程等の見学や情報交換
県内スーパーマーケット	新店舗オープンに伴う県産野菜の調達	県内JA	定期納品が可能な青果物の発注スキームの構築（種類・量・単価）
加工品製造会社	規格外いちごを使用した新商品の開発	飲食店運営会社	規格外いちごの納入
焼肉店運営会社	肉の端材の有効活用	食肉加工業者	加工品（ハム等）の受託製造

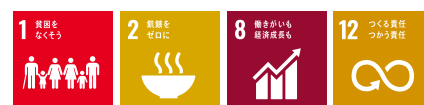
● 経営ニーズに応じた資金供給およびコンサルティング機能提供



JAバンク三重では、農業経営資金をはじめとしたプロパー資金、各種制度資金、日本政策金融公庫資金等の的確な資金供給対応に加え、農業者の皆さまの法人化、事業承継などの経営課題解決に向け、税理士などの外部専門家と連携したコンサルティング機能を用いた伴走型支援を展開しています。

このほか、農業の課題である残渣の利活用に向けた肥料化・飼料化の支援など、農業者の経営ニーズに応じた支援に取り組んでいます。

● 物価高騰への対応



JAバンク三重では、物価高騰により影響を受けられたお客さまを対象に、資金相談窓口を通じて返済条件の緩和等に取り組むとともに、農業者の皆さまに対しては、実質無利子化措置等を講じた物価高騰対策資金による資金繰り支援に取り組みました。なお、県下JAにおける当資金の令和7年度貸出実績は210件、8億3,233万円となりました。